令和７年度
シラバス

教科・科目	保健体育・保健	単位数	1

学年・クラス	１学年　（ 必修 ・　選択　）	担　当　者	小貫　海
使用教科書	大修館　現代高等保健体育		
使用副教材	なし		

目　標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につける。

授業の内容・進め方

授業の内容：健康安全について知識・ 理解を深め、毎時間のレポートをまとめやグループワークでの意見を交換することなどを通して健康課題について考えていきます。
考査：前期末・後期末考査の２回を予定しています。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	①　知識・技能	②　思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	定期考査（年２回：前・後期末考査）	◎	○	△
	発言や提出など授業への参加の様子（適宜）	◎	◎	○
	毎時レポート	◎	◎	◎

・観点別評価　３つの　観点別に各評価項目の達成率でＡ・Ｂ・Ｃを決定する。
Ａ：十分満足できる　　Ｂ：おおむね満足できる　　Ｃ：努力を要する

・評価・評定　観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び中単元別評価基準

学期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4 5 6 7 8 9	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	※それぞれの内容で下記について理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康課題について ・健康水準、疾病構造の変化と、社会状況の関係について ・健康観の変化について ・主体要因・環境要因が健康の成立に関わっていることについて	・自他や社会の健康課題を発見している。 ・健康課題について、データや資料に基づいて分析し、課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・課題の解決方法と選択した理由などを話し合ったり、記述したりして、筋道を立てて説明している。	・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
			生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	・生活習慣病などのリスクと予防について、また予防には健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて ・がんは、生活習慣のみならず感染などの原因もあることについて ・予防と回復には、個人の取組、社会的な対策が必要であることについて	・予防と回復について整理したり、個人・社会生活と関連付けたりして、課題を発見している。 ・生活習慣や社会環境を分析し、リスク軽減とＱＯＬ向上に必要な対策を整理している。 ・課題の解決方法と選択した理由などを話し合ったり、記述したりして、筋道を立てて説明している。	・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
			喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	・喫煙や飲酒は、生活習慣病の要因となること、これらの健康課題を解決するには、個人、社会への対策が必要であることについて ・薬物の乱用は健康、社会の安全に対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて ・薬物乱用を防止するには、個人・社会への対策が必要であることについて	・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、整理し、個人・社会生活と関連付けたりして、課題を発見している。また、これまでの取組を個人・社会環境への対策から分析したり、諸外国と比較して、防止策を評価している。 ・課題の解決方法と選択した理由などを話し合ったり、記述したりして、筋道を立てて説明している。	喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		前期期末考査				

学期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後期	10	現代社会と健康	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復	・精神疾患の特徴と対処について ・精神疾患の予防と回復について ・治療のための知識と社会環境について	・課題を発見し、習得した知識を基に、健康を保ち、不調に早く気付くための個人・社会対策を整理している。 ・課題の解決方法と選択した理由などを話し合ったり、記述したりして、	・精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

					筋道を立てて説明している。	
	11 12 1		現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	・感染症は、環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、より短時間で広がりやすくなっていること、また、意識の変化等により、新興・再興感染症の発生や流行が見られることについて ・予防には、個人・社会の対策が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について	・現代の感染症と予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、生活と関連付け、課題を発見している。 ・感染症の発生・流行について、事例を通して整理し、感染リスク軽減のための対策に応用している。 ・課題の解決方法と選択した理由などを話し合ったり、記述したりして、筋道を立てて説明している。	現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
			健康に関する意志決定・行動選択 健康に関する環境づくり	・健康を保持増進するには、自らの康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、政策や制度、地域活動などの社会環境があることについて	・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理し、生活と関連付けて、課題を発見している。 ・生活や産業活動などによる自然環境汚染について、事例を通して整理し、リスクを軽減するために、生活に応用している。 ・課題の解決方法と選択した理由などを話し合ったり、記述したりして、筋道を立てて説明している。	環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	2 3	安全な社会生活	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全	・発生と要因について ・安全な社会の形成には交通安全、防災などを取り上げて、環境の整備、適切な行動などの個人の取組、地域の連携が必要であることについて ・交通事故を防止するには、生命を尊重するとともに、心身の状態や環境、車両特性などを把握すること、適切な行動、環境整備が必要であることについて	・安全な社会づくりについて、整理し、課題を発見している。 ・情報を整理し、環境整備に応用している。 ・交通安全について、危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・課題の解決方法と選択した理由などを話し合ったり、記述したりして、筋道を立てて説明している。	安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
			応急手当とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	・応急手当の意義について ・応急手当の手順や方法を身に付け、自ら進んで行う態度の必要性、救急体制の整備を進めること、適切に利用する必要があることについて ・AED などを用いて心肺蘇生法ができる。	・安全に関わる原則や概念を基に整理し、自他や社会の課題を発見している。 ・知識や技能を傷害や疾病に関連付けて、適切に応用している。 ・課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、記述したりして、筋道を立てて説明している。	応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		後期期末考査				